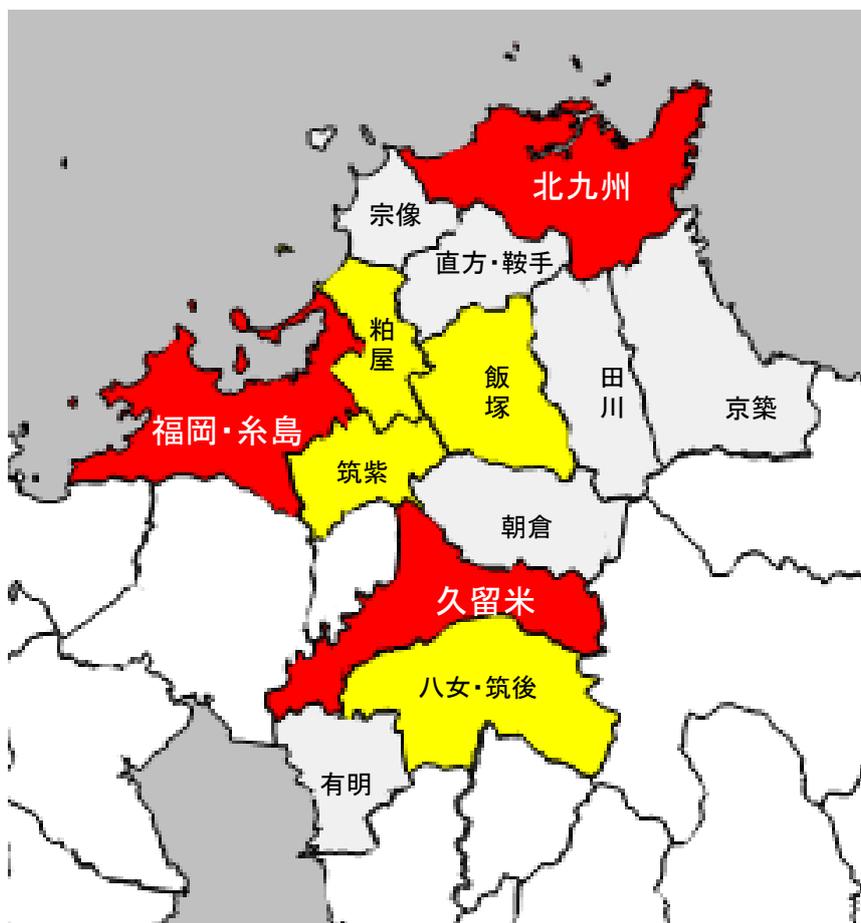


40. 福岡県



40 福岡県

A. 医療提供体制の現状

福岡県の特徴は、(1) 高い医療提供水準、(2) 福岡・糸島、久留米、飯塚、北九州という4つの拠点が存在すること、(3) 療養病床、回復期病床が多いことである。

(1) 高い医療提供水準

全県を通しての人口当たりの病床数の偏差値が60、一般病床が56、療養病床60、精神病床57、総医師数が56（病院勤務医数57、診療所医師54）、総看護師数が62、全身麻酔数57と、非常に高い水準にある。

(2) 福岡・糸島、久留米、飯塚、北九州という4つの拠点が存在

総医師数の偏差値が、福岡・糸島62、久留米72、飯塚59、北九州58であり、医師数の偏差値が高い医療圏が4つもあり、この地域に救命救急センターが配置されている。有明を除く他の医療圏はいずれも50以下であるが、上記の拠点のいずれかへのアクセスはよい。

(3) 療養病床、回復期病床が多いこと

全県的に療養病床も回復期病床も多く、人口当たりの療養病床数、回復期病床数、総療養士数の偏差値が60を超える地域が多い。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(福岡・糸島)

福岡・糸島は、人口約156万人、面積557/km²、人口密度は約2,800人/km²であり、大都市型二次医療圏である。九州大学（1,275床、全麻4,000件以上、救命救急）と福岡大学（915床、全麻5,000件以上、救命救急）、全身麻酔件数年間2,000件以上の九州医療センター（DPCⅡ群）、済生会福岡総合病院（救命救急、DPCⅡ群）、福岡市立こども病院・感染症センター、福岡赤十字病院、浜の町病院などがあり、糟屋、宗像、筑紫および九州全域・山口県などから多くの患者が集まってくる。また、年間1,000件以上の九州がんセンター、福岡和白病院（DPCⅡ群）、原三信病院、九州中央病院、佐田病院があり、他にも多くの高機能病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は55（一般病床55、療養病床55、精神病床51）、総医師数が62（病院勤務医数61、診療所医師62）、総看護師数62、全身麻酔数66と高い医療資源レベルである。総高齢者ベッド数も偏差値66と比較的充実している。

2010→40年の福岡県全体の総医療需要が14%増、0-64歳の医療需要が28%減、福岡・糸島の総医療需要が40%増、0-64歳の医療需要が22%減、75歳以上128%増を考えると、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換し、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

(糟屋)

福岡の東隣に位置する糟屋は、人口約27万人、面積207/km²、人口密度は約1,300人/km²の地方都市型二次医療圏である。糟屋には、全身麻酔年間500件を超える福岡東医療センター、年間250件以上の福岡青洲会病院がある。ある。人口当たりの総病床数の偏差値は60（一般病床53、療養病床66、精神病床55）、総医師数が44（病院勤務医数46、診療所医師42）、総看護師数56、全身麻酔数42と、療養病床と精神病床と看護師数が多く、急性期医療は福岡に依存し、福岡の後方支援的な役割を担う医療機関が多い。総高齢者ベッド数も偏差値60と全国平均レベルを大きく上回る。

2010→40年にかけての人口減少が日本で最も少ない地域の一つであるが、75歳以上の高齢者が今後30年間で倍増以上の後期高齢者の増加が最も激しい地域でもある。0-74歳の医療需要も微減であるので高機能病床は現状維持、75歳以上の高齢者に対応した医療や介護の需要もほぼ倍増するので、後期高齢者への対応の重点的な整備が必要になる。

(宗像)

福岡と北九州の中間に位置する宗像は、人口約15万人、面積172/km²、人口密度は約880人/km²の地方都市型二次医療圏である。宗像には、全身麻酔年間250件を超える水光会宗像水光会総合病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は59（一般病床43、療養病床62、精神病床68）、総医師数が44（病院勤務医数43、診療所医師46）、総看護師数53、全身麻酔数38と、療養病床と精神病床と看護師数が多く、医師数や全身麻酔数が少ない。急性期医療は福岡に依存し、福岡の後方支援的な役割を担う医療機関が多い。総高齢者ベッド数も偏差値46と全国平均レベルを下回る。

2010→40年にかけて75歳以上の高齢者の増加が70%、0-74歳の医療需要も比較的少ない地域なので、高機能病床は現状維持、75歳以上の高齢者に対応した医療や介護の重点的な整備が必要になる。

(筑紫)

福岡の南隣に位置する筑紫は、人口約42万人、面積233/km²、人口密度は約1,810人/km²での地方都市型二次医療圏である。筑紫には、全身麻酔年間2,000件を超える福岡徳洲会病院、福岡大学筑紫病院、年間500件以上の済生会二日市病院があるが、医療では福岡への依存が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は49（一般病床39、療養病床57、精神病床53）、総医師数が46（病院勤務医数45、診療所医師47）、総看護師数47、全身麻酔数45と、療養病床と

精神病床が多く、一般病床は少ない。医師数や全身麻酔数はそこそこ保たれ、急性期医療の一部は福岡に依存し、福岡の後方支援的な役割を担う医療機関も多い。総高齢者ベッド数も偏差値 64 と全国平均レベルである。

2010→40年にかけての人口減少が日本で最も少ない地域の一つであるが、75歳以上の高齢者が今後30年間で倍増する75歳以上の高齢者の増加が最も激しい地域でもある。0-74歳の医療需要も微減であるので高機能病床は現状維持、75歳以上の高齢者に対応した医療や介護の需要もほぼ倍増するので、後期高齢者への対応の重点的な整備が必要になる。

(朝倉)

朝倉は、人口約9万人、面積366/km²、人口密度は約240人/km²であり、福岡県唯一の過疎型二次医療圏である。朝倉には、全身麻酔年間250件を超える朝倉医師会病院があるが、急性期医療に関しては、強く久留米医療圏に依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は58（一般病床50、療養病床63、精神病床57）、総医師数が48（病院勤務医数45、診療所医師54）、総看護師数57、全身麻酔数41と、療養病床と精神病床と看護師数は多いが、全身麻酔数が少なく、久留米や福岡の後方支援的な役割を担う医療機関も多い。

2010→40年にかけて0-64歳の医療需要は、朝倉40%減と大きく減少する一方、75歳以上の高齢者は、朝倉29%の増加が予想されているが、この地域は現在でも有数の療養病床が多い地域であり、高齢者施設も充実しているため、他の地域よりも余裕がありそうである。

(久留米)

福岡、北九州と並ぶ県の医療の拠点である久留米は、人口約46万人、面積468/km²、人口密度は約980人/km²の地方都市型二次医療圏である。久留米には、久留米大学（1,186床、全麻4,000件以上、救命救急）、全身麻酔年間4,000件を超える聖マリア病院（救命救急）があり、朝倉、八女・筑後、有明からも多くの患者が集まってくる。また、年間1,000件以上の新古賀病院医療（DPCⅡ群）、年間500件以上の社会保険久留米第一病院、年間250件以上の高木病院、古賀病院21、嶋田病院など、急性期病院の一大集積地である。

人口当たりの総病床数の偏差値は67（一般病床67、療養病床62、精神病床59）、総医師数が72（病院勤務医数78、診療所医師55）、総看護師数69、全身麻酔数67と医師数も看護師数が極めて多く、充実した医療が提供されているが、現在でも過剰感が強い。総高齢者ベッド数も偏差値53と全国平均レベルである。

2010→40年の久留米の総医療需要が7%増、0-64歳が34%減、75歳以上55%増を考えると、今後ますます急性期病床の過剰感が強まるので、急性期病床のダウンサイジングと、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。また、他の地域からの高齢者の受け入れなどを進めるなどの施策が必要であろう。

(八女・筑後)

八女・筑後は、人口約14万人、面積562/km²、人口密度は約250人/km²の地方都市型二次医

療圏である。八女・筑後には、全身麻酔年間 500 件を超える公立八女総合病院、筑後市立病院、慶仁会川崎病院があるが、久留米医療圏に強く依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は 60（一般病床 52、療養病床 71、精神病床 51）、総医師数が 47（病院勤務医数 47、診療所医師 48）、総看護師数 63、全身麻酔数 54 と、療養病床と看護師数が非常に多く、医師数も全身麻酔数も比較的多く、比較的充実した急性期医療が提供されている。また、高機能医療は久留米に依存する一方、久留米の後方支援的な役割を担う医療機関も多い。

2010→40 年にかけて 0-64 歳の医療需要は、八女・筑後が 34%減と大きく減少する。一方、75 歳以上の高齢者は、27%の増加が予想されているが、この地域は現在でも有数の療養病床が多い地域であり、高齢者施設も充実しているため、他の地域よりも余裕がありそうである。

（有明）

有明（柳川・大牟田）は、人口約 24 万人、面積 264/km²、人口密度は約 900 人/km²の地方都市型二次医療圏である。有明には、全身麻酔年間 1,000 件を超える大牟田市立総合病院、年間 250 件以上の社会保険大牟田天領病院がある。

急性期医療に関しては、久留米医療圏に依存している。この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 76（一般病床 71、療養病床 67、精神病床 70）、総医師数が 54（病院勤務医数 53、診療所医師 56）、総看護師数 73、全身麻酔数 42 と、一般病床、療養病床と精神病床と看護師数が非常に多く、医師数も全国平均を超えるが、全身麻酔数が少なく、久留米や福岡の後方支援的な役割を担う医療機関も多い。

2010→40 年にかけて 0-64 歳の医療需要は、45%減と大きく減少する。一方、75 歳以上の高齢者は有明 8%の増加が予想されている。急性期病床の転換や削減、この地域は現在でも有数の療養病床が多い地域であり、他の地域からの高齢者の受け入れなどを進めるなどの施策が必要であろう。

（飯塚）

飯塚は、人口約 19 万人、面積 369/km²、人口密度は約 510 人/km²の地方都市型二次医療圏である。全身麻酔年間 3,000 件を超える麻生飯塚病院（救命救急）があり、直方・鞍手、田川から多くの患者が訪れる、福岡、北九州、久留米と並ぶ福岡県の医療の拠点の一つである。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 68（一般病床 75、療養病床 53、精神病床 61）、総医師数が 59（病院勤務医数 63、診療所医師 51）、総看護師数 76、全身麻酔数 68 と、医師数も看護師数も病床数も全国平均を大きく超え、充実した医療が提供されているが、現在でも過剰感が強い。総高齢者ベッド数も偏差値 64 と充実している。

この地域の 2010→40 年にかけて 0-74 歳の医療需要は、3 割以上減少する。75 歳以上の医療需要は 21%増加するが、総医療需要は 10%前後減少するので、飯塚地区の高機能病床数の検討が必要となる。介護需要は、今後 2 割程度増えるが、この地域は日本でも有数の高齢者施設が充実している地域で、他の地域よりも余裕がありそうである。他の地域からの高齢者の受け入れなどを進めるなどの施策が必要であろう。

(直方・鞍手)

直方・鞍手は、人口約 11 万人、面積 252/km²、人口密度は約 450 人/km²の地方都市型二次医療圏である。直方・鞍手には、全身麻酔年間 250 件を超える直方中央病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 61（一般病床 45、療養病床 61、精神病床 68）、総医師数が 46（病院勤務医数 44、診療所医師 50）、総看護師数 60、全身麻酔数 35 と看護師数が極めて多く、病院勤務医数も全国平均を超え、充実した医療が提供されている。

この地域の 2010→40 年にかけて 0-74 歳の医療需要は、3 割以上減少する。75 歳以上の医療需要は 15%増加するが、総医療需要は 13%減少するので、飯塚地区の高機能病床数の検討が必要となる。介護需要は、今後 2 割程度増えるが、この地域は日本でも有数の高齢者施設が充実している地域で、他の地域よりも余裕がありそうである。

(田川)

田川は、人口約 13 万人、面積 364/km²、人口密度は約 370 人/km²の地方都市型二次医療圏である。田川には、全身麻酔年間 500 件を超える社会保険田川病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 75（一般病床 51、療養病床 49、精神病床 106）、総医師数が 47（病院勤務医数 47、診療所医師 48）、総看護師数 65、全身麻酔数 39 と精神病床と看護師数が極めて多いが、全身麻酔数が少ない。精神医療の比率が高く、急性期医療は飯塚への依存の比率が高い。

この地域の 2010→40 年にかけて 0-74 歳の医療需要は、3 割以上減少する。75 歳以上の医療需要は 2%増加するが、総医療需要は 19%減少する。精神病床のダウンサイジングは必要であろう。介護需要は、今後 2 割程度増えるが、この地域は日本でも有数の高齢者施設が充実している地域で、他の地域よりも余裕がある。

(北九州)

福岡、久留米と並ぶ県の医療の拠点である北九州は、人口約 112 万人、面積 597/km²、人口密度は約 1,870 人/km²である大都市型二次医療圏である。産業医科大学（736 床、全麻 3,000 件以上、救命救急）があり、全身麻酔年間 3,000 件を超える九州厚生年金病院（DPC II 群）、北九州市立医療センターなどがあり、京築など他の地域からも多くの患者が集まってくる。また年間 1,000 件以上の北九州総合病院（救命救急）、新小文字病院、新日鐵八幡記念病院、九州労災病院、済生会八幡総合病院や北九州市立八幡病院（救命救急）など、急性期病院の一大集積地である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 63（一般病床 62、療養病床 63、精神病床 55）、総医師数が 58（病院勤務医数 59、診療所医師 53）、総看護師数 64、全身麻酔数 62 と医師数も看護師数が極めて多く、充実した医療が提供されているが、現在でも過剰感が強い。総高齢者ベッド数も偏差値 57 と高い。

2010→40 年にかけて 0-74 歳の医療需要が、3 割程度減少し、75 歳以上の高齢者の医療需要は 48%増加するが、総医療需要も減少する。北九州は、総医療需要が減少すると予想される日本で唯一の大都市型二次医療圏であり、現在でも過剰感京築の強い北九州地区の高機能

病床数の検討が必要になる。介護需要は、今後3割程度増えるが、この地域は療養病床、高齢者施設が充実している地域なので、他の地域よりも余裕がありそうである。他の地域からの高齢者の受け入れなどを進めるなどの施策が必要であろう。

(京築)

京築（行橋）は、人口約19万人、面積566/km²、人口密度は約330人/km²の地方都市型二次医療圏である。京築には、全身麻酔年間500件を超える新行橋病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は55（一般病床36、療養病床67、精神病床60）、総医師数が42（病院勤務医数39、診療所医師49）、総看護師数52、全身麻酔数38と一般病床、病院勤務医数、全身麻酔数が極めて少なく、急性期医療は北九州への依存度が高い。また、診療所の提供する医療の比率の高い地域である。総高齢者ベッド数も偏差値61と高い。

京築では、2010→40年にかけて0-74歳の医療需要が、3割程度減少する。75歳以上の高齢者の医療需要は30%増加するが、総医療需要も減少する。北九州の急性期病床の整備と連動するかたちで、体制の整備が必要であろう。介護需要は、今後3割程度増えるが、この地域は療養病床、高齢者施設が充実している地域なので、他の地域よりも余裕がありそうである。

表 40-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
福岡県	5,071,968	9位	4,977	29位	1,019.0		22%	-14%	66%
福岡・糸島	1,562,178	31%	557	11%	2,802.3	大都市型	18%	-3%	128%
粕屋	272,487	5%	207	4%	1,318.1	地方都市型	18%	3%	101%
宗像	150,932	3%	172	3%	875.7	地方都市型	24%	-15%	70%
筑紫	422,301	8%	233	5%	1,809.5	地方都市型	18%	-5%	121%
朝倉	87,942	2%	366	7%	240.4	過疎型	27%	-27%	29%
久留米	459,623	9%	468	9%	982.6	地方都市型	23%	-19%	55%
八女・筑後	137,822	3%	562	11%	245.1	地方都市型	26%	-23%	27%
有明	235,745	5%	264	5%	894.5	地方都市型	29%	-34%	8%
飯塚	187,944	4%	369	7%	508.8	地方都市型	26%	-25%	21%
直方・鞍手	113,457	2%	252	5%	451.1	地方都市型	28%	-29%	15%
田川	134,548	3%	364	7%	370.0	地方都市型	29%	-30%	2%
北九州	1,117,725	22%	597	12%	1,872.3	大都市型	25%	-21%	48%
京築	189,264	4%	566	11%	334.2	地方都市型	26%	-24%	30%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 40-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
福岡県	467	5.4%	9.2	56	4,491	4.5%	89	56
福岡・糸島	125	27%	8.0	53	1,502	33%	96	59
粕屋	26	6%	9.5	57	157	3%	58	40
宗像	14	3%	9.3	56	104	2%	69	45
筑紫	28	6%	6.6	50	282	6%	67	44
朝倉	8	2%	9.1	56	76	2%	86	54
久留米	49	10%	10.7	60	443	10%	96	60
八女・筑後	14	3%	10.2	59	114	3%	83	53
有明	34	7%	14.4	69	225	5%	95	59
飯塚	22	5%	11.7	63	172	4%	92	57
直方・鞍手	12	3%	10.6	60	95	2%	84	53
田川	16	3%	11.9	63	105	2%	78	50
北九州	102	22%	9.1	56	1,061	24%	95	59
京築	17	4%	9.0	56	155	3%	82	52
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 40-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
福岡県	86,510	5.5%	1,706	60	9,460	7.5%	187	58
福岡・糸島	22,788	26%	1,459	55	2,454	26%	157	56
粕屋	4,688	5%	1,720	60	286	3%	105	51
宗像	2,513	3%	1,665	59	295	3%	195	59
筑紫	4,991	6%	1,182	49	647	7%	153	55
朝倉	1,414	2%	1,608	58	151	2%	172	57
久留米	9,323	11%	2,028	67	1,344	14%	292	68
八女・筑後	2,339	3%	1,697	60	184	2%	134	53
有明	5,845	7%	2,479	76	670	7%	284	67
飯塚	3,902	5%	2,076	68	573	6%	305	69
直方・鞍手	1,980	2%	1,745	61	187	2%	165	56
田川	3,229	4%	2,400	75	318	3%	236	63
北九州	20,764	24%	1,858	63	2,004	21%	179	58
京築	2,734	3%	1,445	55	347	4%	183	58
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 40-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
福岡県	4,491	4.5%	89	56	3,768	4.2%	74	52	723	7.3%	14.3	59
福岡・糸島	1,502	33%	96	59	1,300	35%	83	57	202	28%	12.9	58
粕屋	157	3%	58	40	136	4%	50	39	21	3%	7.7	50
宗像	104	2%	69	45	83	2%	55	42	21	3%	13.9	59
筑紫	282	6%	67	44	238	6%	56	43	44	6%	10.4	54
朝倉	76	2%	86	54	65	2%	74	52	11	2%	12.5	57
久留米	443	10%	96	60	347	9%	75	53	96	13%	20.9	69
八女・筑後	114	3%	83	53	97	3%	70	50	17	2%	12.3	57
有明	225	5%	95	59	176	5%	75	52	49	7%	20.8	69
飯塚	172	4%	92	57	136	4%	72	51	36	5%	19.2	67
直方・鞍手	95	2%	84	53	82	2%	72	51	13	2%	11.5	55
田川	105	2%	78	50	83	2%	62	46	22	3%	16.4	63
北九州	1,061	24%	95	59	897	24%	80	55	164	23%	14.7	60
京築	155	3%	82	52	128	3%	68	49	27	4%	14.3	59
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 40-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
福岡県	42,880	4.8%	845	56	22,584	7.0%	445	60	20,648	6.1%	407	57
福岡・糸島	12,871	30%	824	55	5,452	24%	349	55	4,385	21%	281	51
粕屋	2,109	5%	774	53	1,535	7%	563	66	976	5%	358	55
宗像	814	2%	539	43	731	3%	484	62	968	5%	641	68
筑紫	1,945	5%	461	39	1,675	7%	397	57	1,371	7%	325	53
朝倉	608	1%	691	50	448	2%	509	63	358	2%	407	57
久留米	5,017	12%	1,092	67	2,262	10%	492	62	2,038	10%	443	59
八女・筑後	1,024	2%	743	52	909	4%	660	71	404	2%	293	51
有明	2,788	7%	1,183	71	1,395	6%	592	67	1,582	8%	671	70
飯塚	2,385	6%	1,269	75	588	3%	313	53	929	4%	494	61
直方・鞍手	664	2%	585	45	523	2%	461	61	730	4%	643	68
田川	974	2%	724	51	323	1%	240	49	1,924	9%	1,430	106
北九州	10,950	26%	980	62	5,622	25%	503	63	4,101	20%	367	55
京築	731	2%	386	36	1,121	5%	592	67	882	4%	466	60
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 40-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
福岡県	8	3.9%	1.6	50	16	4.2%	3.2	51	136,500	5.3%	2,691	57
福岡・糸島	3	38%	1.9	51	5	31%	3.2	51	55,020	40%	3,522	66
粕屋	0	0%	0	43	1	6%	3.7	52	3,384	2%	1,242	42
宗像	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,272	1%	843	38
筑紫	0	0%	0	43	0	0%	0	42	6,600	5%	1,563	45
朝倉	0	0%	0	43	0	0%	0	42	996	1%	1,133	41
久留米	2	25%	4.4	62	2	13%	4.4	54	16,692	12%	3,632	67
八女・筑後	0	0%	0	43	1	6%	7.3	62	3,264	2%	2,368	54
有明	0	0%	0	43	1	6%	4.2	54	2,880	2%	1,222	42
飯塚	1	13%	5.3	67	1	6%	5.3	57	6,960	5%	3,703	68
直方・鞍手	0	0%	0	43	0	0%	0	42	684	1%	603	35
田川	0	0%	0	43	1	6%	7.4	63	1,332	1%	990	39
北九州	2	25%	1.8	51	4	25%	3.6	52	35,700	26%	3,194	62
京築	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,716	1%	907	38
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 40-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
福岡県	15,572	4.8%	307	56	10,107	5.1%	199	57	5,464	4.5%	108	54
福岡・糸島	5,546	36%	355	62	3,496	35%	224	61	2,050	38%	131	62
粕屋	552	4%	203	44	358	4%	131	46	194	4%	71	42
宗像	294	2%	195	44	171	2%	113	43	123	2%	81	46
筑紫	897	6%	212	46	539	5%	128	45	359	7%	85	47
朝倉	205	1%	233	48	111	1%	126	45	94	2%	107	54
久留米	2,030	13%	442	72	1,523	15%	331	78	508	9%	110	55
八女・筑後	309	2%	224	47	186	2%	135	47	123	2%	89	48
有明	674	4%	286	54	406	4%	172	53	268	5%	114	56
飯塚	628	4%	334	59	445	4%	237	63	182	3%	97	51
直方・鞍手	242	2%	214	46	135	1%	119	44	108	2%	95	50
田川	308	2%	229	47	187	2%	139	47	121	2%	90	48
北九州	3,549	23%	317	58	2,390	24%	214	59	1,159	21%	104	53
京築	339	2%	179	42	162	2%	86	39	177	3%	93	49
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 40-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
福岡県	57,196	5.5%	1,128	62	47,170	5.5%	930	61	10,025	5.5%	198	58
福岡・糸島	17,572	31%	1,125	62	13,998	30%	896	60	3,574	36%	229	62
粕屋	2,648	5%	972	56	2,140	5%	785	55	508	5%	186	56
宗像	1,340	2%	888	53	1,083	2%	717	52	257	3%	170	54
筑紫	3,038	5%	719	47	2,415	5%	572	46	624	6%	148	51
朝倉	878	2%	999	57	703	1%	799	56	175	2%	199	58
久留米	6,065	11%	1,320	69	5,154	11%	1,121	70	911	9%	198	58
八女・筑後	1,613	3%	1,170	63	1,316	3%	955	63	297	3%	216	61
有明	3,347	6%	1,420	73	2,870	6%	1,217	74	477	5%	202	59
飯塚	2,829	5%	1,505	76	2,272	5%	1,209	74	557	6%	296	72
直方・鞍手	1,224	2%	1,079	60	927	2%	817	56	298	3%	263	67
田川	1,650	3%	1,226	65	1,431	3%	1,063	67	219	2%	163	53
北九州	13,359	23%	1,195	64	11,574	25%	1,035	66	1,785	18%	160	53
京築	1,633	3%	863	52	1,290	3%	682	50	343	3%	181	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

表 40-9 療法士数と回復期病床数

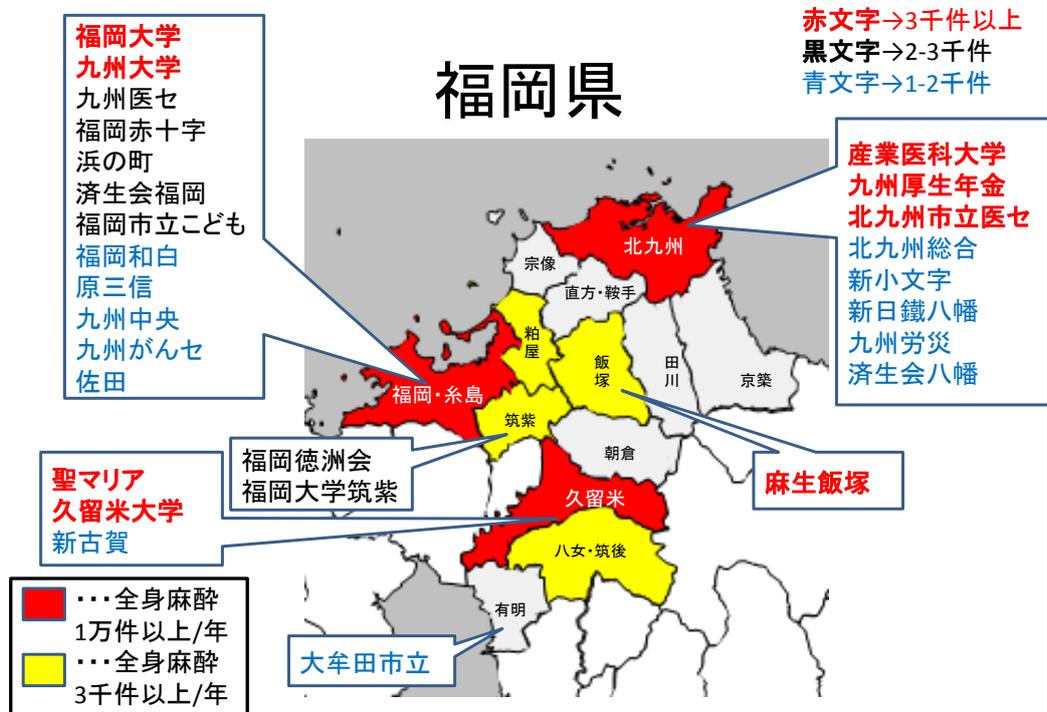
二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
福岡県	6,590	6.9%	130	63	4,090	6.4%	81	57
福岡・糸島	1,952	30%	125	62	1,465	36%	94	60
粕屋	348	5%	128	63	118	3%	43	48
宗像	146	2%	97	55	49	1%	32	46
筑紫	364	6%	86	53	116	3%	27	45
朝倉	120	2%	137	65	82	2%	93	60
久留米	848	13%	185	77	497	12%	108	63
八女・筑後	206	3%	150	68	208	5%	151	73
有明	443	7%	188	78	286	7%	121	66
飯塚	278	4%	148	68	76	2%	40	48
直方・鞍手	88	1%	77	51	91	2%	80	57
田川	131	2%	98	56	61	1%	45	49
北九州	1,464	22%	131	64	920	22%	82	57
京築	201	3%	106	58	121	3%	64	53
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病床連絡協議会			

表 40-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
福岡県	948	6.7%	17.1	63	39	5.0%	0.7	52	319	4.7%	5.8	56
福岡・糸島	270	28%	21.0	70	10	26%	0.8	54	87	27%	6.8	62
粕屋	34	4%	15.0	59	5	13%	2.2	76	17	5%	7.5	67
宗像	21	2%	12.1	54	0	0%	0	41	4	1%	2.3	33
筑紫	47	5%	14.0	57	5	13%	1.5	65	24	8%	7.1	65
朝倉	34	4%	26.7	81	1	3%	0.8	54	4	1%	3.1	39
久留米	126	13%	23.9	76	5	13%	0.9	56	41	13%	7.8	69
八女・筑後	43	5%	21.7	72	1	3%	0.5	49	7	2%	3.5	41
有明	52	5%	13.8	57	2	5%	0.5	50	18	6%	4.8	49
飯塚	19	2%	7.2	45	2	5%	0.8	53	17	5%	6.5	60
直方・鞍手	16	2%	9.4	49	0	0%	0	41	6	2%	3.5	42
田川	16	2%	7.6	45	0	0%	0	41	15	5%	7.1	65
北九州	232	24%	16.8	63	5	13%	0.4	47	67	21%	4.8	50
京築	38	4%	15.2	60	3	8%	1.2	60	12	4%	4.8	50

出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月	介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月
----	---------------------------	---------------------------	-------------------------------

図 40-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 40-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア			介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア			総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア		
		75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差			75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差			75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
福岡県	79,082	4.7%	143	60	38,497	4.1%	70	52	40,585	5.3%	73	59
福岡・糸島	20,217	26%	157	66	8,857	23%	69	52	11,360	28%	88	67
粕屋	3,248	4%	144	60	1,634	4%	72	55	1,614	4%	71	58
宗像	2,264	3%	130	54	1,080	3%	62	46	1,184	3%	68	57
筑紫	5,160	7%	153	64	2,352	6%	70	53	2,808	7%	83	64
朝倉	1,710	2%	134	56	1,134	3%	89	68	576	1%	45	46
久留米	6,659	8%	126	53	3,116	8%	59	44	3,543	9%	67	56
八女・筑後	2,407	3%	122	50	1,379	4%	70	52	1,028	3%	52	49
有明	4,323	5%	114	47	2,603	7%	69	52	1,720	4%	46	46
飯塚	4,017	5%	153	64	2,146	6%	81	62	1,871	5%	71	58
直方・鞍手	2,779	4%	164	69	1,206	3%	71	54	1,573	4%	93	69
田川	3,736	5%	177	74	2,034	5%	96	74	1,702	4%	80	63
北九州	18,896	24%	137	57	9,142	24%	66	50	9,754	24%	71	58
京築	3,666	5%	147	61	1,814	5%	73	55	1,852	5%	74	60
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 40-12 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健 施設(老健) 収容数	全国 シェア 県内 シェア			特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国 シェア 県内 シェア			介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア		
		75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差			75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差			75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
福岡県	14,187	4.0%	26	51	18,482	3.7%	33	48	5,828	6.9%	10.5	59
福岡・糸島	2,977	21%	23	47	4,646	25%	36	50	1,234	21%	9.6	57
粕屋	485	3%	21	44	529	3%	23	38	620	11%	27.4	90
宗像	350	2%	20	42	391	2%	22	37	339	6%	19.5	75
筑紫	660	5%	20	41	780	4%	23	38	912	16%	27.1	90
朝倉	470	3%	37	71	550	3%	43	58	114	2%	8.9	56
久留米	1,190	8%	23	46	1,330	7%	25	40	596	10%	11.3	60
八女・筑後	600	4%	30	59	725	4%	37	51	54	1%	2.7	44
有明	1,098	8%	29	57	1,166	6%	31	45	339	6%	9.0	56
飯塚	790	6%	30	59	1,189	6%	45	59	167	3%	6.3	51
直方・鞍手	629	4%	37	71	460	2%	27	41	117	2%	6.9	52
田川	760	5%	36	69	1,200	6%	57	71	74	1%	3.5	45
北九州	3,350	24%	24	49	4,659	25%	34	48	1,133	19%	8.2	54
京築	828	6%	33	64	857	5%	34	49	129	2%	5.2	48
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 40-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シニア県内シニア			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シニア県内シニア			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅	全国シニア県内シニア			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シニア	シニア	シニア				シニア	シニア	シニア				シニア	シニア	シニア		
全国	313,116			22.3	(16.7)		171,021			12.2	(5.9)		88,421			6.3	(4.0)	
福岡県	19,306	6.2%		34.9	58		8,776	5.1%		15.9	56		3,677	4.2%		6.7	51	
福岡・糸島	6,620	34%		51.4	67		1,760	20%		13.7	53		1,176	32%		9.1	57	
粕屋	851	4%		37.6	59		305	3%		13.5	52		171	5%		7.6	53	
宗像	789	4%		45.3	64		153	2%		8.8	44		33	1%		1.9	39	
筑紫	1,575	8%		46.8	65		432	5%		12.8	51		261	7%		7.8	54	
朝倉	171	1%		13.4	45		99	1%		7.8	43		116	3%		9.1	57	
久留米	1,142	6%		21.7	50		1,272	14%		24.2	70		294	8%		5.6	48	
八女・筑後	312	2%		15.8	46		396	5%		20.0	63		10	0%		0.5	35	
有明	541	3%		14.3	45		440	5%		11.6	49		204	6%		5.4	48	
飯塚	541	3%		20.5	49		435	5%		16.5	57		322	9%		12.2	65	
直方・鞍手	564	3%		33.3	57		378	4%		22.3	67		159	4%		9.4	58	
田川	469	2%		22.2	50		702	8%		33.2	85		92	3%		4.4	45	
北九州	4,635	24%		33.5	57		2,048	23%		14.8	54		779	21%		5.6	48	
京築	1,096	6%		43.9	63		356	4%		14.3	54		60	2%		2.4	40	
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)									

表 40-14 ~64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	~64歳人口			2010年を100とした~64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
福岡県	3,522,510	3,228,760	2,833,581	89	82	72	735,350	934,641	915,816	133	169	166
福岡・糸島	1,207,615	1,137,239	1,006,376	94	88	78	196,948	272,765	292,981	153	212	228
粕屋	214,563	211,704	199,923	96	95	90	32,761	45,789	45,450	145	203	201
宗像	100,760	91,250	80,773	88	79	70	23,350	30,540	29,568	134	175	170
筑紫	322,067	302,491	270,807	93	87	78	50,668	71,339	74,556	151	212	221
朝倉	52,876	45,546	38,679	82	71	60	14,281	17,629	16,447	112	138	129
久留米	307,428	273,922	235,236	87	77	66	67,478	83,545	81,507	128	159	155
八女・筑後	86,792	76,528	66,665	85	75	66	22,374	26,138	25,100	113	132	127
有明	132,592	110,739	91,575	80	67	55	40,937	45,685	40,678	108	121	108
飯塚	115,335	102,809	90,253	83	74	65	29,188	36,005	31,863	111	137	121
直方・鞍手	66,510	58,401	50,214	82	72	62	19,302	22,564	19,552	114	133	115
田川	77,627	68,538	59,624	81	72	62	22,254	25,651	21,483	105	121	102
北九州	718,582	643,583	552,800	86	77	66	185,608	221,235	204,239	134	160	148
京築	119,763	106,010	90,656	86	76	65	30,201	35,756	32,392	121	143	130
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 40-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			総介護需要 増減率
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	
全国		10%	-30%	58%	50%
福岡県		14%	-28%	66%	57%
福岡・糸島	大都市型	40%	-22%	128%	114%
粕屋	地方都市型	32%	-10%	101%	89%
宗像	地方都市型	12%	-30%	70%	60%
筑紫	地方都市型	32%	-22%	121%	106%
朝倉	過疎型	-6%	-40%	29%	24%
久留米	地方都市型	7%	-34%	55%	47%
八女・筑後	地方都市型	-4%	-34%	27%	22%
有明	地方都市型	-19%	-45%	8%	3%
飯塚	地方都市型	-9%	-35%	21%	16%
直方・鞍手	地方都市型	-13%	-38%	15%	10%
田川	地方都市型	-19%	-38%	2%	-2%
北九州	大都市型	3%	-34%	48%	40%
京築	地方都市型	-5%	-35%	30%	24%

出典 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月
日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省
平成22年度 国民医療費 厚生労働省

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 40-2 福岡県 2010年→40年医療介護需要の増減予測

